

一般財団法人武蔵野市開発公社（東京都・武蔵野市）

市民が誇りに思うまちであり続けるために、「まち」の魅力と価値を高めていきます。

Basic information

法人設立年月日	1968年8月19日
指定年月日	2020年12月4日
資本金等	出捐 10,000千円
株主・構成団体等 (出資割合)	武蔵野市
職員数	8名（うち正員6名）

■ 法人の紹介

武蔵野市の外郭団体として吉祥寺をはじめとしたまちの魅力や価値向上に取り組む法人です。自治体の補助金に頼らず、商業ビルの運営で自立した経営を行い、そこで得た利益を街の魅力や価値を高める取組に還元する事業を展開しています。

■ 官民連携による事業推進体制

コーディネーターとして、公共及び民間の立場や考えを理解して連携を模索しながら、まちの賑わい創出に取り組んでいます。



■ 活動エリア（約68ha）

駅から1,000mの範囲を目安に設定しています。



Project

1 空間デザインによる啓発事業

（収益事業・**非収益事業** / 公有地・**民有地**）

■ New personal space with COVID-19

ソーシャルディスタンスへの意識をより高める必要がある来街者が、必要な距離感を直感的につかむことができる体験の場を、期間限定で街中の通路（民有地）にデザインしました。



2 調査研究事業

（収益事業・**非収益事業** / 公有地・**民有地**）

■ キチマチリサーチ

吉祥寺における来街者の意識や行動、体験等を調査し、タウンデータとして蓄積することで、商業地として吉祥寺を選んでもらうための基礎データをまち場に提供するとともに、当者の施策立案に役立てます。



Hot topic

■ エリアマネジメント研究交流会で受賞

2021年7月に開催された第1回エリアマネジメント研究交流会（主催：全国エリアマネジメントネットワーク他）で、可変性と多機能性を有する「まちからベンチ」を用いた空間活用事例がベストプレゼンテーション賞を受賞しました。



Tool

活用している各種まちづくり制度

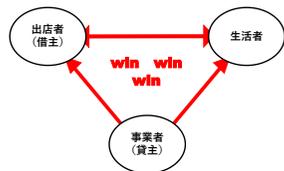
制度の種類	活用	締結・活用時期
①都市再生整備計画の提案		
②道路占用許可特例制度の活用		
③都市公園の占用許可特例制度の活用		
④都市利便増進協定の締結		
⑤都市再生（整備）歩行者経路協定の締結		
⑥低未利用土地利用促進協定の締結		
⑦公園施設設置管理協定の締結		

3 スキマ活用に向けたサポート事業

（収益事業・**非収益事業** / 公有地・**民有地**）

■ 吉祥寺ポップアップストアポータル

「時間的・空間的スキマ」を有する方と吉祥寺でチャレンジしてみたい方とのマッチングをサポートする「吉祥寺ポップアップストアポータル」を軒先(株)と共同運営しています。



4 レンタルスペース事業

（**収益事業**）・ 非収益事業 / 公有地・**民有地**）

■ スキマ空間の発掘と活用

保有する不動産のスキマ空間を発掘して、有料で貸し出す事業を行っています。この活動を通じて、通常の賃貸借契約とは異なる場所貸しによる稼働ノウハウを蓄積しています。

